

地域共生

地域共生に関するJR西日本グループの考え方

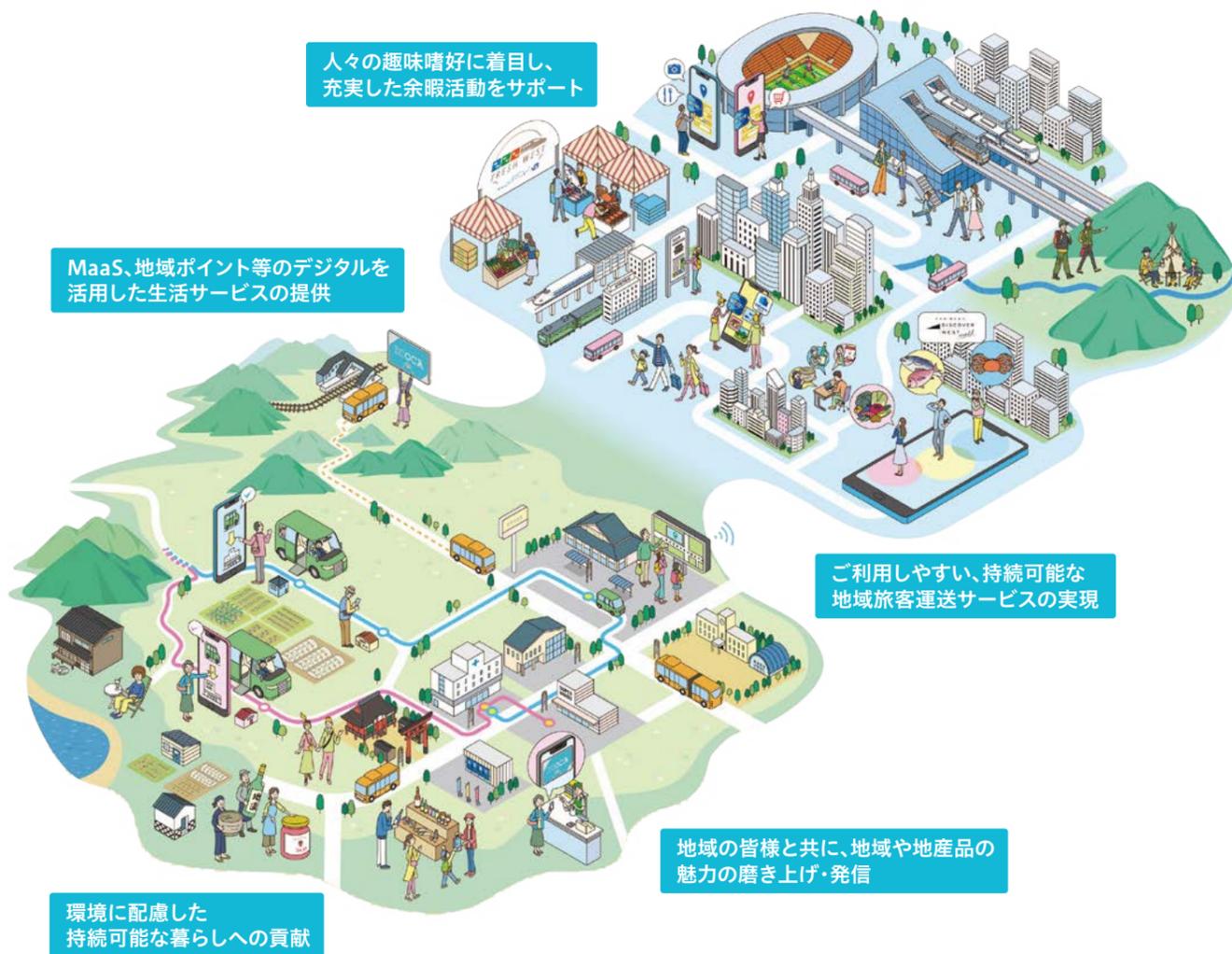
JR西日本グループは、沿線地域の皆様と共に、地場産業の活性化や地域資源の磨き上げを通じ、誰もが訪れたい、住みたい沿線づくりに取り組んでまいりました。

近年の急速なライフスタイルの変容に伴い、沿線地域のそれぞれの特情にあわせた豊かな暮らしづくりや、災害や環境変化に強い元気な地域経済づくりが一層求められていると感じています。

私たちはグループで展開している事業を通じて、人と人、人と地域をつなぐ/えき・まち等リアルな場とデジタ

ルの情報をつなぐ/沿線の地域と地域をつなぐ役割を果たします。

各地域の活性化に役立つソリューションを提供することで、地域課題を解決し、未来の「well-being」な暮らしを実現していきます。



豊かな地域づくり・地域ビジネスの推進

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」

岡山県北部は、中国山地の雄大な自然、旧街道の宿場町や城下町として栄えた歴史ある街並み、古くから受け継がれた伝統芸能、多彩な農産物など、風景・文化・魅力的な地域資源を有するエリアです。「森の芸術祭 晴れの国・岡山」では、これらの地域の持つ風景・文化・歴史的な地域の魅力を「アート」という新たな切り口で広くお伝えしたいと考えています。

また、アート作品を核とした観光周遊の促進や地域の食材を活用した弁当や水羊羹などの地域産品の開発により地域の魅力を高め、地域全体の観光消費拡大と交流人口の増加を図るとともに、地域の方々がアーティストや観光客とのふれあいにより、地域の潜在的な魅力を再認識し、より一層、地域を誇りに感じるきっかけになると確信しています。

■「森の芸術祭 晴れの国・岡山」

開催期間：2024年9月28日(土)～11月24日(日)
展開エリア：岡山県北部12市町村(津山市、高梁市、新見市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)



ご利用しやすい持続可能な交通体系づくり

ローカル線については会社発足以降、地域の皆様にご協力いただきながら、輸送改善や観光誘発といったご利用促進策を進めてきました。一方、沿線人口の減少・少子高齢化、道路整備や、道路を中心としたまちづくりの進展など、ローカル線を取り巻く環境は大きく変化しています。線区によっては大量輸送という観点で鉄道の特性が十分に発揮できていないと考えており、またCO₂排出の面でも、必ずしも鉄道の優位性を発揮できていない状況にあります。

こうした状況を受け、地域の皆様とより具体的な議論をさせていただくために、2022年4月に輸送密度2千人未満の線区を対象に、線区の経営状況に関する情報開示を行い、対話を進めているところです。

今後もさらなる人口減少など、環境変化が見込まれる中で、持続可能な地域社会の実現に向け、線区の特長の違いや移動ニーズを踏まえ、地域のまちづくりに合わせた、今よりもご利用しやすい最適な地域交通体系を地域の皆様と共に創り上げていく必要があると考えています。

旅客列車を活用した荷物輸送事業

「さまざまな地域・企業との共創価値実現」と「地域活性化への貢献」を主な目的として、旅客列車内の空きスペースを活用した荷物輸送サービスを西日本各地で展開しています。特に、新幹線や特急列車の持つ「即日速達/高頻度/低振動」という特長は、これまで世の中に提供されていなかったサービスとして認知・活用されているほか、いわゆる「物流の2024年問題」への対応や環境負荷の低減といった社会課題の解決にも貢献しています。

とりわけ、西日本の魅力ある産品について、新幹線や特急列車などの旅客列車により即日かつ高品質にお届けする商品の証として「FRESH WEST(フレッシュウエスト)」というブランドを冠し、地産品の販路拡大や地域情報の発信に資する取り組みを展開しています。また、2024年度からは、JR旅客6社が相互に連携し、新幹線ネットワークを活かして、会社の境界をまたいだ全国ネットワークを確立し、事業展開を推進しています。



なお、当社ではさまざまな移動手段に関するソリューション開発にも取り組んでおり、イノベーションの力も活かしながら、地域の皆様と共に持続可能な地域交通体系を模索・実現していきたいと考えています。

■事例① 城端線・氷見線



富山県の城端線、氷見線では、県や沿線市の皆様と共に、将来のまちづくりに資する持続可能な公共交通の実現に向けて、新型車両やICカードの導入など、利便性・快適性の向上に向けた鉄道事業再構築実施計画をとりまとめ、2024年2月に国土交通大臣の事業認定を受けました。(富山新聞 2024年2月9日朝刊より転載)

■事例② 芸備線



岡山県から広島県にまたがる芸備線(備中神代・備後庄原間)では、2024年3月に第1回再構築協議会が開催され、中国運輸局、岡山県、広島県など地域の皆様と、特定の前提を置かず持続可能な交通体系の実現に向けて議論を進めています。